

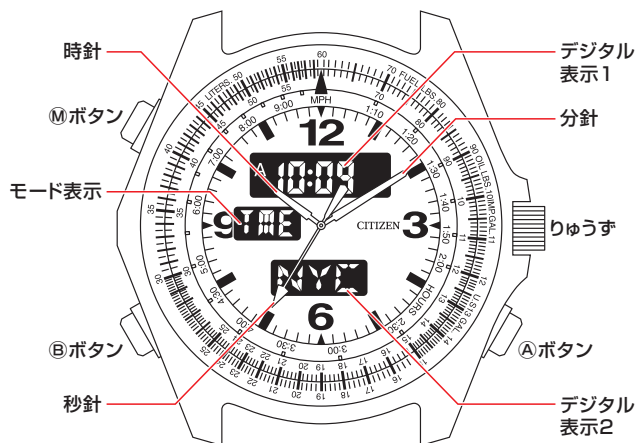
C460 簡易操作ガイド

・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。



C460取扱説明書

各部の名称



- ・モデルによってデザインが異なります。
- ・スケールやベゼルについて、詳細は取扱説明書や、サイトの外装機能についてのページ(<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>)をご参照ください。

EL ライトを使う

下記の操作中に、ELライトが点灯します。

- ・「TME」モード、「CAL」モード、「SET」モードの通常表示でAボタンを押したとき
- ・「CHR」モードでスプリットタイム表示したときやストップしたとき

時刻を合わせる

アナログの時刻を合わせる

- ・アナログの時刻(時計針/分針)は、デジタル表示の時刻と連動していません。

1. 秒針が0秒を指しているときに、りゅうずを引く
秒針が止まります。
2. りゅうずを回して、時刻を合わせる
3. 時報に合わせて、りゅうずを押し込む

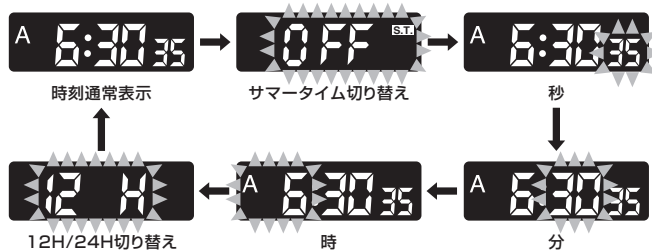
デジタル表示の時刻を合わせる

- ・デジタル表示の時刻は、アナログの時刻(時計針/分針)と連動していません。
- ・30都市およびUTC(協定世界時)のうち、いずれかひとつの都市の時刻合わせを行うと、他の都市の時刻も自動的に修正されます。

1. Mボタンをくり返し押して、モードを「TME」にする
2. Bボタンをくり返し押して、都市名表示に「TYO」を表示させる
「TYO」以外を選んだときは、現地の時刻に合わせます。
3. Bボタンを2秒間以上押し続ける
「S.T.」(サマータイム)の「ON」/「OFF」が点滅します。
4. Aボタンを押して、サマータイムのON/OFFを設定する

5. Bボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ

Bボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



6. Aボタンを押して、合わせる

- ・点滅している部分が、合わせる対象です。
- ・Aボタンを押し続けると表示が連続して変わります。

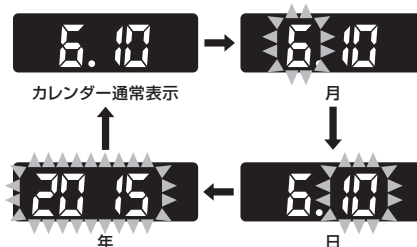
7. 手順5、6をくり返し、他の対象を合わせる

8. Mボタンを押して、終了する

カレンダーを合わせる

この時計のカレンダーは、うるう年を含む2099年12月31日まで、修正不要です。

1. Mボタンをくり返し押して、モードを「CAL」にする
デジタル表示1にカレンダーが表示されます。
・デジタル表示2に曜が表示されている場合は、Aボタンを2秒間以上押して、都市名表示に切り替えます。
2. Bボタンをくり返し押して、デジタル表示2に「TYO」を表示させる
「TYO」以外を選んだときは、現地のカレンダーに合わせます。
3. Bボタンを2秒間以上押し続ける
月が点滅し、修正できるようになります。
4. Aボタンを押して、月を修正する
5. Bボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ
・Bボタンをくり返し押すごとに、次のように対象が切り替わります。



- ・点滅している部分が、合わせる対象です。

6. Aボタンを押して、合わせる

- ・選んだ対象の表示が変わります。
- ・Aボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

7. 手順4、5 をくり返し、他の対象を合わせる

8. Mボタンを押して、終了する

曜は自動で設定されます。

ワールドタイムを使う

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを「TME」または「CAL」にする
「CAL」を選んだときは、カレンダー表示になります。
2. **B** ボタンを押して、都市を選ぶ
選んだ都市の、時刻またはカレンダーが表示されます。
・ゾーンセット機能で、表示をOFFに設定した都市は表示されません。(「ゾーンセット機能を使う」をご参照ください。)
・**A** ボタンと**B** ボタンを同時に押すと、呼び出し順序の切り替えができます。

都市名一覧

略称	都市名	時差	サマータイム 実施	略称	都市名	時差	サマータイム 実施
UTC	協定世界時	±0	—	TYO	東京	+9	×
LON	ロンドン	±0	○	SYD	シドニー	+10	○
PAR	パリ	+1	○	NOU	ヌーメア	+11	×
ROM	ローマ	+1	○	AKL	オークランド	+12	○
CAI	カイロ	+2	○	HNL	ホノルル	-10	×
IST	イスタンブール	+2	○	ANC	アンカレッジ	-9	○
MOW	モスクワ	+3	○	LAX	ロサンゼルス	-8	○
KWI	クウェート	+3	×	DEN	デンバー	-7	○
DXB	ドバイ	+4	×	CHI	シカゴ	-6	○
KHI	カラチ	+5	×	MEX	メキシコシティ	-6	×
DEL	ニューデリー	+5.5	×	NYC	ニューヨーク	-5	○
DAC	ダッカ	+6	×	YUL	モントリオール	-5	○
BKK	バンコク	+7	×	CCS	カラカス	-4	×
SIN	シンガポール	+8	×	RIO	リオデジャネイロ	-3	○
HKG	香港	+8	×	BUE	ブエノスアイレス	-3	×
PEK	北京	+8	×				

- ・一覧表の時差は、UTC(協定世界時)からの時差です。
- ・時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。

アラームを使う

- ・アラームは、「AL1」、「AL2」にそれぞれ設定することができます。
- ・「AL1」と「AL2」のアラーム音は異なります。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを「AL1」または「AL2」にする
現在設定されている、都市とアラーム時刻が表示されます。
2. **B** ボタンを押して、都市を選択する
3. **B** ボタンを2秒間以上押す
アラームの時が点滅します。
4. **A** ボタンを押して、時を設定する
・午前と午後を間違えないように注意します。
・**A** ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
5. **B** ボタンを押す
アラームの分が点滅します。
6. **A** ボタンを押して、分を設定する
・**A** ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
7. **M** ボタンを押して、終了する

アラームのONとOFFの切り替え

「ALM」で**A** ボタンを押すごとに、ONとOFFが切り替わります。

アラーム音をとめるときは

いずれかのボタンを押します。
アラーム音は、20秒間鳴ります。

アラーム音を確認する

「AL1」または「AL2」で、**A** ボタンを押し続けると、アラーム音を確認することができます。

クロノグラフを使う

1/100秒単位、最大24時間まで計測できます。24時間を超えると、0時間0分0秒で停止します。
・他のモードに切り替えても計測は継続されます。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを「CHR」にする
スタート / ストップ：**A** ボタンを押します。
リセット：ストップ中に、**B** ボタンを押します。
・計測中に**B** ボタンを押すと、経過時間(スプリットタイム)が10秒間表示され、「SPL」が点滅します。
10秒後に自動的に計測表示にもどります。

タイマーを使う

1分単位、最大99分のタイマーを設定することができます。
・他のモードに切り替えてもタイマーは継続されます。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを「TMR」にする
2. **B** ボタンを押す
・**B** ボタンを押すごとに、タイマー設定時間が1分ずつマイナス修正されます。
・**B** ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
3. **A** ボタンを押す
タイマーのカウントダウンが始まります。
スタート / ストップ：**A** ボタンを押します。
リセット：ストップ中に、**B** ボタンを押します。
・タイマー作動中に**B** ボタンを押すと、設定した時間から改めてカウントダウンを始めます。

設定時間が過ぎると

タイムアップ音が鳴ります。音を止めるには、いずれかのボタンを押します。

ゾーンセット機能を使う

この時計で表示できる30都市及びUTC(協定世界時)の中から、表示したい都市の選択と、各都市のサマータイムのセットができます。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを「SET」にする
2. **B** ボタンを押して、都市を選択する
3. **B** ボタンを2秒間以上押す
ONまたはOFFと都市名が点滅します。
4. **A** ボタンを押して、都市の表示(ON)または非表示(OFF)を選択する
・**A** ボタンを押すごとに、ONとOFFが切り替わります。
5. **B** ボタンを押す
「S.T.」(サマータイム)の「ON」/「OFF」が点滅します。
6. **A** ボタンを押して、サマータイムON/OFFを選択します。
7. **M** ボタンを押して、終了する
2～6を繰り返して、複数の都市表示の設定ができます。

オールリセットを行う

動作中のクロノグラフやタイマーはリセットされます。

1. リゅうずを引き出す
2. **A**、**B**、**M** ボタンを同時に押す
ボタンを離すと、液晶表示がすべて点灯します。
3. リゅうずを押し込んで、終了する
・確認音が鳴ります。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、時刻合わせ、カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。